

環状線

大阪各署のホットニュースをお届けします



此花

KONOHANA

1秒でも早く!救える命がある限り

1秒でも早く救命処置を開始し、1人でも多くの命を救うため、平成29年6月1日より、心肺停止または心肺停止が疑われる救急事案にAED積載の消防隊が救急隊と同時出場しています。

そこで、消防隊と救急隊が連携し、より高度な救命処置が求められることから、9月25日・26日に当署においてPA連携技術練成会を開催した。

消防隊と救急隊がペアになり、心肺停止の傷病者に対し、協力して救命処置を行う想定訓練

と、高度救命人形を用いて胸骨圧迫と人工呼吸を行う訓練の合計点で順位を競った。

激励にいられた救急部長からは、「消防隊と救急隊の連携がよくとれていた」と高評価をいただきました。

今回の訓練は、今後の実現場でのPA連携活動に大いに有意義なものとなり、更なる研鑽に励み、「救える命がある限り」救命率の向上に繋がりたいと思います。(品川)

PA:P=消防隊 A=救急隊

